

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップの12の村で平成27年1月から巡回診療を開始した。その活動は今年度多岐に渡り地域の住民の命を守り、生活を守ることに注視した。その背景に、令和3年2月1日からの政情の激変による住民の生活環境が急速に低下したことが起因する。命を守り、生活を守るために保健衛生指導だけではなく、安全な飲み水を提供するための井戸掘りや、学校への文房具寄付配布など活動を拡大したことは大きな変換時期になると考えられる。しかし、住民の生活は加速的に増悪したため、ミャンマーの未来を創る10年計画を模索し、展開することに決定した。その為、保健衛生指導数及び再開した巡回診療数は令和5年4月1日から令和6年3月31日までに計17回と減少し、延べ183人の受診者と保健衛生指導の参加者数は436人と減っている。病人の搬送はなかった。現在長引く国軍によるクーデターにより多くの若者が国外へ働く現実と、また、令和6年2月10日から発令された徴兵制から逃れるために、徴兵制対象の17歳から35歳までの若者が国外へ出て行っているなど国内では混乱状況と共に生活物品の価格高尙などにより、住民の生活が成り立たなくなっている。この事態のNGO活動への影響は計り知れない。ミャンマーへの送金規制などミャンマー国内でのNGOの活動を妨げている。コロナ感染前は25団体が活動していたが、現在はMFCGを含め約8団体のみが継続活動している。武装地域など危険が伴う地域での活動は停止せざるを得ない状況でもある。当会は、令和3年2月1日のクーデター後、セキュリティを慎重に考慮し、現在、13村でしか行っていない。ヘルストークの内容は、MFCGが普段から伝えていたバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓蒙活動が含まれており、常日頃からの予防の重要性が際立った。住民の中にはMFCGの活動の必要性を再認識してくれた人もいた。MFCGのミッションである住民の自立(自律)を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員(CHP)もMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。また、今回はトイ村で第2回目のCHP育成コースも開催し、新たに2人のCHPが育成され、血圧測定などの予防に貢献している。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか?など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。例えば、トイ村のCHPの今年度の目標は、高血圧の人の発見と予防。さらに継続的な投薬などである。これは村にいる助産師との連携を行う、画期的な活動である。

また、菜園に関して、12の村のうちモデルケースとなるトイ村において2019年からコミュニティガーデンを構築し、活動を進めていたが、令和5年3月に設置した農地用の水タンクは、植えた野菜(空心菜・オクラなど)の発育を促進している。特別活動として、MFCGの活動地ミャウンミャではなく、エーヤワディ地域ラプタタウンシップのシュエパゴン村、全43世帯で令和5年2月10日から開始した安全な飲み水の提供のための井戸掘り作業は6月27日完成し、現在も2か月に1度訪問し、村の住民が自分たちの力で運営を行っている。状況が不安定な中でも、活動は継続して行われており、日本では、コロナの前まで開催していた“MFCG年に一度の報告会”を無事オンサイトで開催することができ、約40人のご支援者さまが参加してくださった。また、京都・大坂など関西地方を中心に西日本でご支援者さまとの交流会を開催し、さらに、青森、伊豆や神奈川県などのロータリークラブとの交流会も開催でき、新たなご支援者さまを発掘できた。令和5年度の全資金の72%を活動費に活用することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	<p>1. ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動</p> <p>2. 活動報告会 (MFCG 参加イベント, MFCG 年に一度の報告会など)</p>	<p>令和5年4月1日-令和6年3月31日 計17回</p> <p>3月23日 (土)</p>	<p>ミャンマー エーヤワ デ管区 ミヤ ウン ミヤ タウン シップ ン</p> <p>オンサイト</p>	<p>6~7人</p> <p>20人</p>	<p>436人 (HE)</p> <p>約40人</p>	<p>4407</p>
	<p>3. 活動啓発活動(参加イベント・インタビュー雑誌掲載など)</p>	<p>令和5年奇 数号掲載寄 稿文 計6 回</p>	<p>鎌倉朝日新 聞</p> <p>ミャンマー ジャポン毎 月号</p> <p>オルタナ寄 稿文隔月</p> <p>YWCA にて 講話会</p> <p>伊豆西、神 奈川、青森 などのロー タリークラ ブにて講話 会</p>	<p>1人</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>1人</p>	<p>不特定</p> <p>不特定</p> <p>不特定</p> <p>約20人</p> <p>約200人</p>	

B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動	令和5年4月1日-令和6年3月31日	ミャンマーエーヤワデア管区ミヤウンミヤタウンシップ	約4~6人	436人(HE)	7008
	2 ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動と安全な飲み水のための井戸掘り	令和5年2月10日~6月27日	シェエパゴン村 井戸掘り事業	約200人	不特定	
	3 ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動と文具寄付(学校教育支援)	令和5年4月1日-令和6年3月	ガヤジ村及ポーニューサン村の学校	6~7人	1255人(文具およびHE)	
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1、水害被害への緊急物資支援	該当事項なし				0
D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	定例会(コミュニティリーダーデモンstrating・その他)	ミャンマーエーヤワデア管区ミヤウンミヤタウンシップ 主にトーイ村	3人	151人	4011
E) 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	3人	234人	2819

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
コーヒー販売事業	フェアトレード分野で株式会社 ROBELCO との連携。 ミャンマーのシャン州の女性の生活向上のためにつくられた品質高いコ	令和6年3月	ロータリーなどの講話会場での販売	約10人	452